

據ありて聞の故之に従て可ならむ

國津意加美神社

祭神

今按舊説に所祭闇竊歎さみえたるを續風土記には祭神素
煮鳴尊稻田姫命大已貴命とせしは國津云々とあるにより
て國津神と思ひ遂に此三神とせしならん然れども意加美
神とあれば正しく竊神なるべし

祭日 九月十五日

社格 村社

所在 武生水村 宇宮 (石田郡武生水村)

物部布都神社

祭神 布都主命

祭日 九月十六日

社格

所在

今按明細帳式内社記に物部邑とあれど神社考に此村大屋
の野中の辻に社もなかりしを延寶の時石社木鏡を安置し
て新に勧請し布都神社と定めたるは古に所謂物部郷は物
部武水水渡浦三邑にて渡浦村蓬宮則式内の物部布都神社
なる事を考へず偏るに當社は物部村にあるべき社と見た
る故也と見え式社沿革考に壹岐廿四座記承應社記吉野公

光記神社考式社略考の五書にも物部布都神社は渡良村と
侍しは此渡良村を國津神社と云は社號の混亂なりと云る
に従て此所在を定むべきなり

特選神名牒

對馬島二十九座

大二十六座
小二十三座

○上縣郡十六座

大二座
小十四座

和多都美神社

大神

祭神 豐玉姬命

神位 仁明天皇承和四年二月甲午朔戊戌對馬島上縣郡无位
和多都美神奉_レ授_三從五位下_一清和天皇貞觀元年正月廿七日
甲申奉_レ授對馬島從五位下和多都美神從五位上十二年三
月五日丁巳詔授_三對馬島從五位上和多都美神正五位下_一

祭日 八月五日

社格 國幣中社(上縣郡峯村大字木坂)

所在 木坂村 宇伊(仁位村の方なり)
豆山(と云ふ説あり)

島大國魂神社

祭神 狹手依姬命

素盞鳴尊

今按明細帳に祭神素盞鳴尊とみえたるを長崎縣式内社記
に國史に徵考するに狹手依比賣神なるべし仍て加祭すと
あるは古事記津島亦名謂_三天之狹手依比賣_一と云るによれ
るなるべしされど舊説も全く無稽とは定めがたし故今姑

對馬島 上縣郡

く式内社記に従て二神を記せり

神位 清和天皇貞觀十二年三月五日丁巳授對馬島從五位

上島大國魂神正五位上

祭日 六月三日

社格 村社

所在 豐村 水白(上縣郡豐村)

能理刀神社

祭神 天兒屋根命

今按本社由緒書に昔より天兒屋根命を祭るとあるを明細
帳長崎縣式内社記に宇麻志摩運命鳥賊津命をも合祭る由
に記せれど式帳にも一座とみえ由緒書にもしかあれば今
は之に従へり

神位 清和天皇貞觀十二年三月五日丁巳授對馬島告刀神

從五位上

祭日 六月朔日

社格 村社

所在 西泊村 宇熊(上縣郡西泊村)

天諸羽命神社

祭神 天諸羽命

今按明細帳長崎縣式内社記に祭神天兒屋根命天太玉命雷
大臣命とみえ由緒書に雷大臣命、齋龜とを執行ひし齋場

八三九